



心臓が動いているのはなぜ

心臓は24時間動き続けている

心臓は、血液を送り出し、体のすみずみにまでとどけるための、ポンプの役目をしてい
ます。血液は、体にあみの目のようにはりめぐらされた血管を通り、体じゅうに酸素や栄養
をとどける、大切な役割をはたしています。そして、心臓にもどってくるときには、二酸化
炭素など、体のいらなくなったものを、運んでくる役目もしているのです。

このように、わたしたちが生きていく上で、大切なはたらきをしている心臓は、わたした
ちが寝ている間も、決して止まることなく、24時間動き続けているのです。

心臓が動き続けているひみつは

心臓が決して止まることなく、動き続けているひみつは、心臓の筋肉にあります。

心臓の筋肉は、体のほかの部分の筋肉に比べ、特別じょうぶにできているのです。その
ため、心臓にしかないこの特別の筋肉は、規則正しい収縮運動により、強い力で血液を送
り出しているのです。この筋肉が動くおかげで、心臓も動いているというわけです。

そして、心臓のもう一つのすばらしい特徴は、心臓は、脳の命令で動いているのではな
いということです。ふつう、体のほかの部分の筋肉は、脳の命令で動いていますが、心臓の
筋肉の場合は、脳とは関係なく、心臓の中にある、特別のしくみによって動いているという
ことです。そのため、心臓は24時間動き続けているのです。（監修・保志 宏）

